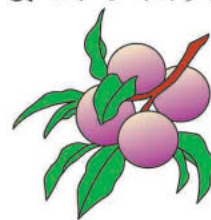


広報

やまと

—自然が生き生き
まほろば大和—



編集/〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村役場企画財政課
TEL/0997-57-2111 FAX/0997-57-2161
発行人/大和村長 永田 武光
<http://www.vill.yamato.kagoshima.jp/>

NO. **175** 平成16年
9月号



小池環境大臣
奄美野生生物保護センター視察



YAMATO

第13回

ひらとみ祭の

奄美の夏まつりの最後を飾る第13回ひらとみ祭り（村連合青年団主催）が9月12日（日）、思勝港湾一帯で開催されました。祭りは、9月5日予定されてましたが、台風18号の影響で9月12日に延期され、午前9時30分から開とみ神社でサトウキビ豊作祈願を行い、10時から祭りのメインである舟こぎ競争に63チームが参加して中学生から老人クラブまで、優勝を目指して熱戦を繰り上げました。

奄美まつり（名瀬市）の上位チームも顔をそろえ、予選から白熱。会場は、チヂンを打ち鳴らして観衆の歓声が響いていました。

夕方からステージで保育所のかわいい遊戯や迫力満点の奄美大島うるまエイサー、テレビの人気キャラクターショーで盛り上がり、地元高校生のいいあんべ、地元バンドのグラパンパス、ネリヤ☆カナヤ（名瀬市出身）の歌をたっぶり披露しました。また大抽選会等もあり、住民や隣市町村

サトウキビ豊作祈願



から大勢訪れ、群島内最後の夏まつりを楽しんでいました。

最後は、約二千発の花火が秋の夜空を彩り、大勢の観客を魅了していました。

「ひらとみ祭り」は、村連合青年団が中心になって企画、運営する手作りのイベント。実行委員長の奥田光夫氏は「台風18号で延期になり心配した。今日祭りが出来てうれしい。苦労も多かったが、団員が尚一層団結したように思う。これからも

ソーレ、イチー、ニー



団長あいさつ
連青 奥田光夫

- 舟こぎ競争の結果
- エンガの部
 - ① ウォーターボーイズ
 - ② 湯湾釜青年団
 - ③ 長浜中央自治会荒武者
 - メラブの部
 - ① ふうだなあまんぎやるず
 - ② エコーアマミ
 - ③ あちやぬま
 - 集落対抗（エンガ）
 - ① 大棚
 - 同（メラブ）
 - ① 思勝

応援にも力がある



夜店も繁盛
やきとりがおいしいヨー



ゲスト ネリヤ☆カナヤ



デカレンジャーと
ジャンケンゲーム



奄美大島うるまエイサー



会場を盛り上げる実況中継!



見事な水中花火



メラブの部優勝 ふうだなあまんぎやるず



ステージの司会者
カッコイイー!!



ネリヤ☆カナヤと一緒に
おどりにやソソソソ



エンガの部優勝 ウォーターボーイズ



郡体開幕、各地で熱戦 ソフトテニス女子チーム準優勝

第58回県民体育大会、第45回大島地区大会が、平成16年7月17・18日の2日間、各市町村を会場に開催されました。大和村からは15競技に約160名の選手団が出場しました。大和村は男女総合で12位、女子総合で10位という結果に終わりました。

中でも、ソフトテニス女子の準優勝、サッカーは3位入賞と、大変すばらしい成績をおさめることができました。



準優勝 ソフトテニス女子チーム



選手のみなさん、又応援してくださった皆さん、本当にお疲れさまでした。

*各種目別結果

準優勝	*ソフトテニス女子	
第3位	*サッカー	
第4位	*水泳男子	
第5位	*水泳女子	*バトミントン男子
	*ラグビー	*相撲二部
第9位	*バレーボール男子	*バレーボール女子
	*ソフトテニス男子	*軟式野球
	*バトミントン女子	*ソフトボール男子
	*ゲートボール	*剣道



午後3時半頃に奄美野
生生物保護センターに、
到着されて永田武光村長、

5月に成立した「特定
外来生物被害防止法」を
受け、環境省では来年度、
奄美のマングース対策の
強化を打ち出しており、
今回の視察は小池大臣の
「現場を見て、より効果
的な法運用につなげたい」
との意向を受けて実現さ
れました。

9月8日、名瀬市・金
作原のマングース捕獲作
業と大和村の奄美野生生
物保護センターを視察さ
れました。

小池環境大臣が来島

関係職員が玄
関前で出迎え
ました。また、
施設内では、
奄美大島の成
り立ちや島ご
との生物につ
いて、同セン
ターの阿部慎
太郎さんから
説明を受け見
学されました。



いて「自然こそが素晴
らしい財産。いろんな
意味で守っていきたく
い」と話され、奄
美で外来種対
策を強化する
理由について
「島であるこ
とで、集中し
て駆除するの
にふさわしい。
奄美での経験
を生かし、他
の地域、種で
も取り組みた
い」と話され
ました。

お知らせ コーナー

平成16年度

消費生活通信教育講座 受講者募集について

て本講座を修了する。

③受講資格

県内に居住する者

④受講料

①目的
勤務あるいは育児や家事の都合等のため、消費生活講座等を受講できない消費者を対象に、通信教育の方法で消費生活に関する一般的知識を提供することにより、県民の消費生活の安定向上に資することを目的とする。

⑤募集期間

平成16年8月30日(月)～平成16年9月30日(木)まで(当日必着)

⑥受講の申込み方法

②講座の内容
*科目
消費生活の基礎知識

*期間

平成16年10月～平成17年1月まで(4ヶ月間)

*定員

100名(受講申込者が定員を上回った場合は、初回申込者優先及び抽選)

*学習方法

自宅に送付されたテキスト、参考書資料によって学習。効果測定演習問題で復習し、理解度を測る。解答用紙・質問票及びアンケートを提出することによって

●受講希望者の提出先及び問合せ

先

●鹿児島県消費生活センター

〒892-0821

鹿児島市名山町4番3号

TEL 099-224-0999

FAX 099-224-4997

●大和村役場住民生活課

57-2111(31)

音楽演奏会のお知らせ

航空自衛隊奄美通信隊(大島郡笠利町)は、航空自衛隊創立50周年を記念して、南西航空音楽隊を招待し音楽演奏会を行います。音楽隊の生演奏を思う存分お楽しみ下さい。皆様方の多数のご来場を心よりお待ちしております。

①日時

平成16年10月17日(日)

開場…13時

開演…14時

②場所

奄美振興会館ホール(奄美文化センター)

名瀬市長浜町517番地

TEL 0997-54-1211

③演奏部隊

南西航空混成団

南西航空音楽隊(沖縄県那覇市)

④主催

航空自衛隊奄美通信隊

TEL 0997-63-0700

⑤その他

全席自由席、入場料無料

架空債権請求

(悪質業者)にご注意

悪質業者が、「法務大臣が許可した債権回収会社」の名前又は類似の名前をかたって、「債権譲渡を受けた」などとして架空の債権を請求するケースについて、数多くの相談・情報があり、法務局や消費生活センター、警察などに寄せられています。

*このような請求を受けた場合は、次のとおりに対処しましょう。

1、身に覚えのないものは支払う必要がありません。
請求には応じないようにしましょう。

2、通知業者には、一切連絡しないようにしましょう

3、法務大臣が許可した債権回収会社でなければ、債権管理回収業を営むことができません。

4、架空の請求は犯罪の可能性があり、最寄りの警察にも相談してください。

5、法務大臣が許可した債権回収会社が、出会い系サイト、アダルトサイト、ツーショットダイヤルの利用料を請求することはありません。

6、法務大臣の許可した債権回収会社が、請求書で、担当者の連絡先として、携帯電話を指定したり、個人名義の口座を回収金の振込先とすることはありませ

ん。また、携帯メールでいきなり請求することはありません。

7、法務省・法務局が債権回収業者に依頼することはありません。

●最寄りの相談先

鹿児島地方法務局名瀬支局

TEL 0997-52-0376

大島消費生活相談所

TEL 0997-52-0999

裁判員制度について

●平成16年5月「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」が成立しました。公布の日(平成16年5月28日)から5年以内に施行されます。

●裁判員制度は、国民のみなさんに裁判員として刑事裁判に参加してもらい、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするかを裁判官と一緒に決めてもらう制度です。

●国民のみなさんが刑事裁判に参加することにより、裁判が身近で分かりやすいものとなり、司法に対する信頼の向上につながることが期待されています。国民が裁判に参加する制度は、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア等でも行われています。

木工作験参加募集のお知らせ

奄美群島に豊富に存在するリュウキウマツ及びイタジイ等を家具材や内装材としての高度利用を図り、地場産業の育成を図ることを目的に、今年度より「あまみ木工の里づくり事業」を実施しています。

このうち、奄美産材や木工品への理解を深めて頂くため、一般市民の皆様に対しても「木工体験」を実施します。

＊実施内容は下記のとおりです。

①実施日

基本的に毎月第3日曜日

②実施施設

黒うさぎ工房 名瀬市入舟町19

TEL 0997-5717848

住用村木工芸センター

住用村摺勝555-10

TEL 0997-6915015

③実施内容

木工技術者の指導のもと、リュウキウマツ等の奄美産木材を利用した木製品を作製します。

＊1回当り4時間(半日)程度です。

＊1回当りの募集人員は5名から10名程度です。

参加は無料です。(材料費、保険料等の経費は事業で負担します)

④応募要領

上記施設を初めて利用される方を対象とします。体験を希望される方は、直接上記施設へお申し込みください。なお、1回につきどちらかの施設1箇所での体験となります。

⑤その他

事業に関するお問い合わせ
あまみ木工の里推進協議会事務局
TEL 0997-5717272
大島支庁農林課林務係

「クレジット・サラ金110番」の開催

鹿児島県司法書士会は、次の要領で「クレジット・サラ金110番」を開催します。クレジット・サラ金等の返済でお困りの方は、ご相談ください。なお、面談相談を希望される方は予めご予約をお願いいたします。

＊主催

鹿児島県司法書士会

＊実施名称

クレジット・サラ金110番

＊実施日時

平成16年10月30日(土)

午前10時～午後6時

＊実施方法

①電話による無料相談(電話58台) 電話番号099-20613751(代表)

②面談による無料相談(予約制、予約は午後5時迄)

＊実施場所

①鹿児島市鴨池新町1番3号

司調センタービル(面談・電話)

②鹿児島市西原2-2-3

西原地区学習センター(面談のみ)

③川内市大小路町14番5号

川内市中央公民館(面談のみ)

④隼人町見次1371番地

サン・あもり(面談のみ)

⑤名瀬市長浜町5番6号

名瀬市社会福祉協議会(面談のみ)

＊相談員
司法書士 約40名
＊予約・問合せ先
鹿児島県司法書士会
TEL 099-25610335

平成16年度(後期) 調理師国家試験案内

①試験案内及び受験申請書用紙は、平成16年8月16日(月)から請求できます。

＊請求先

〒107-0052

東京都港区赤坂7-10-9

第四文成ビル6F 社団法人

調理技術技能センター

TEL 03(3584)1931

②受験申請書の受付

平成16年9月13日(月)～10月8日(金)

郵送の場合は10月8日(金)の消印有効。

＊添付書類

●調理師免許証のコピー(A4サイズ)

●学科または実技試験免除の該当者はその資格を証明するもののコピー

③受験手数料

実技試験のみ受験

18,800円

学科試験のみ受験

3,700円

実技と学科試験を受験

22,500円

④試験実施場所

＊日本料理

札幌市・仙台市・東京都・金沢市・長野市・静岡市・名古屋市中・神戸市・松江市・福岡市

＊西洋料理

札幌市・仙台市・東京都・金沢市・静岡市・名古屋市中・大阪市・福岡市

＊麺料理

東京都・大阪市

⑤合格発表

平成17年3月31日(木)

発表方法

当センターに掲示(合格者には郵便で通知)

10月1日～7日は公正証書週間です。

「遺言や契約は公正証書でこころし」

●遺産をめぐる骨肉の争いが増えています。それを防ぐためにも遺言をしておきましょう。

●公正証書遺言は、家庭裁判所の検認や他の相続人の同意を得ることなく、遺言とおりの内容で、すぐに相続登記などすることが出来ます。

●公正証書(執行証書)があれば、裁判手続きなしに財産の差押えも出来ます。

●老後の財産管理や福祉サービスの契約に成年後見制度を利用しましょう。

●離婚する場合は、子どもの養育費など公正証書で決めておくことをおすすめします。

●10月2日(土)・3日(日)は、下記役場において相談に応じています。

相談は無料です、いつでもお気軽にご相談ください。

＊問合せ先

名瀬市役所

【名瀬市幸町12番22号】

TEL 0997-5212661

平成16年度「後期」技能検定(国家検定)の実施について

一、受験申請書受付期間
平成16年9月28日(火)～10月8日(金)(土・日曜日・祝日除く)
＊受験申請書は9月15日(水)以降に下記機関でお受け取り下さい。

二、受験申請書の配布先

県職業能力開発協会

市町村役所

(商工担当課・建築担当課・水道担当課)

県庁労働政策課

県各総務所(労政担当課)

各支庁(労政担当課)

県立高等技術専門校

県認定職業訓練校及び所属団体組合

三、試験実施日

●実技試験

平成16年11月26日(金)～平成16年12月20日(日)

●学科試験

平成17年1月30日(日)・2月2日(水)・2月6日(日)・2月13日(日)

四、合格発表

平成17年3月15日(火)

五、実施職種

機械検査、配管、かわらぶき、コンクリート圧送施行等、36職種35作業

六、等級

特級、1級、2級、3級、単一等級

七、問合せ先

鹿児島県職業能力開発協会

鹿児島市住吉町15-11

県住吉ビル

TEL 099-22613240

FAX 099-22218020

大和っ子スクール「舟こぎ」 第3時間目

平成16年7月10日(日)に大和っ子スクール第3時間目が開催され、村内から小中学生39名が参加しました。講師として村の連合青年団13名に協力をいただき、伝統として受け継がれている「舟こぎ」体験を指導していただきました。

今回は、実際に「ひらとみ祭り」の舟こぎ競争で使用する舟を使い、場所も同じ会場を使用して行いました。子どもたちにとっては、祭りで毎年見ている舟こぎ競争は、憧れであり、実際それと同じ環境で舟こぎを体験できるということで、とてもうれしそうでした。

まず、青年団の森亮さんから「よほ」の握り方やこぎ方の指導があり、青年団の見本を真似しながらそれぞれ漕ぐ練習をしました。練習の後、実際に舟に乗り込み、青年団の舵取りのもと、海へ漕ぎだしました。ほとんどの子どもたちが初めての体験で、なかなか前に進みませんでしたが、少しずつコツをつかみ、「イチ、ニ」「イチ、ニ」のかけ声でずいぶん上達したようです。

また、中学生は大棚校の教頭先生らを加え、スペシャルチームを編成。村の連合青年団チームと競争しました。中学生チームは、スタートで若干のハンデをもらったものの、青年団以上の見事な漕ぎっぷりをみせ、快勝しました。将来が本当に楽しみです。

子どもたちは、今回の舟こぎ体験で、大和村の伝統のすばらしさを肌で実感し、また、青年団との触れ合いで先輩方のたくましさを感じてくれたようです。ぜひ、将来、今の大和村青年団のように地域に貢献できる立派な青年団に育ってほしいと思います。



大和っ子大会inフォレスト

平成16年7月29日～30日の1泊2日で大和っ子大会inフォレストが開催されました。この大会は「大和っ子育成プラン特別企画」で、今年は、なんと村内の小中学生44名が参加してくれました。子どもたちはフォレストボリスの大自然の中、大和でしかできないような体験活動や文化活動を十分に楽しんでいました。

大和村には、魅力的な体験活動の場がまだまだたくさんあります。小中学生は、ぜひ「大和っ子育成プラン・成長の記録」を活用して素敵な体験活動を探してほしいと思います。

●1日目 *グラウンド・ゴルフ大会 ふれあいの広場で、グラウンド・ゴルフ。楽しみながら打ち解け合い、すばらしいキャンプのスタートとなりました。

*炊飯活動(やきそば) 自分たちで火をおこし、やきそばを作りました。最初はなかなか火をおこしきれませんでしたが、おいしくできあがりました。

*マテリアの滝で水泳 川で泳ぐことって、最近なかなかないですね。子どもたちは岩場から飛び込んだり、魚を追いかけて楽しそうでした。

*炊飯活動(バーベキュー) 飯ごうでご飯を炊き、バーベキューを楽しみました。中学生を中心に全てを子どもたちの手で作り上げました。

*大和っ子クイズ大会 大和村についてのクイズ大会。これを知らなきゃ大和人とは言えない。このクイズ大会で、大和のことを再認識しました。

*天体観測 立和名教頭先生の指導のもと、月や星の観察をしました。天体望遠鏡から見る月はとても神秘的でした。

*花火大会 やっぱ夏之夜は花火ですね。

*テント 夜はテントで就寝です。わいわいがやがや遅くまで話をつきませんでした。

●2日目 *ソテツの芯粥 昔の人はソテツの幹の毒素を抜き、おかゆにして食していました。今ではなかなか食べられない芯粥を自分たちで作るという貴重な体験ができました。

*ロープワーク 消防の賀川さん、政村さんの指導のもと、生活に役立つロープの結び方を学びました。モヤイ結びなどができるようになりました。

*自然散策(川遊び) 川で遊び……のはずが、やっぱり泳いでいました。川の水はつめたくて気持ちがいいです。

*あまみ木工教室 大島支庁の事業で、あまみの木材を使った木工教室を行いました。それぞれの思いで、本立てや椅子などを作り、すばらしいお土産ができました。

■楽しい1泊2日でしたね。来年も多くの友達の参加を待ってます。



大和っ子ナイトスクール

平成16年8月24日(火)大和っ子ナイトスクール(夜間自然観察学習)が開催されました。

このスクールには、村内から中学生、先生方10名が参加しました。ナイトスクールは、夜の8時にスタートしました。まず中央公民館で、インターネットを使い、奄美の野生生物について学習しました。国の特別天然記念物のクロウサギが大島本島と徳之島にしか生息していないことや、ルリカケスが鹿児島県の県鳥であることなどを調べて発表しました。

そして、9時にそれぞれ3台のジープに乗り込み、中央



林道へ向けて出発。自然観察学習です。一番の目的は、クロウサギにあうこと。車を走らせ、約1時間半……いきました。「あつ、クロウサギだ!」子どもたちの乗る車の前に1羽のクロウサギが現れたのです。子どもたちは初めて見るクロウサギに心から感動していた様子でした。

その後は、リュウキュウコノハズクが1羽確認されただけで、クロウサギには出会うことはできませんでした。しかし、あの一瞬の心のときめきは、子どもたちの心に残っていることでしょう。

大和村人権教育講演会

平成16年8月2日に中央公民館において、大和村人権教育講演会が開催されました。今回は、ハンセン病問題について和光園を退所された山本栄良さんに講演をいただきました。



● 遺伝病ではありません。完治した方に接触しても、感染することはありません。● 治療により完治します。現在の治療では、身体に障害が残ることはありません。● 治療した後に残る身体的変化は単なる後遺症にすぎません。

平成16年度青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア・シニア海外ボランティア・日系社会シニアボランティア秋募集要領

	青年海外協力隊	日系社会青年ボランティア	シニア海外ボランティア	日系社会シニアボランティア
募集期間	平成16年10月10日(日)～11月16日(火)	平成16年10月10日(日)～11月16日(火)	平成16年10月10日(日)～11月16日(火)	平成16年10月10日(日)～11月16日(火)
募集分野	農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツ	農林水産、教育文化、医療福祉	計画・行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉	日本語教育、保健衛生・福祉、その他
募集人数	約800名	約50名	約300名	約25名
応募資格	満20歳から満39歳(平成16年11月16日現在)までの日本国籍を持つ方		満40歳から満69歳(派遣時)までの日本国籍を持つ方	
派遣国	約70ヶ国 (アジア・アフリカ・中南米・中近東・大洋州・東欧)	アルゼンチン・ボリビア・ブラジル・チリ・コロンビア・ドミニカ共和国・メキシコ・パラグアイの日系団体等	55ヶ国予定 (アジア・アフリカ・中南米・中近東・大洋州・東欧)	アルゼンチン・ボリビア・ブラジル・ペルー・コロンビア・ドミニカ共和国・パラグアイ
派遣期間	原則として2年間(1年間派遣もあり)	2年間	1年ないし2年間	2年間
説明会内容	ビデオ上映、概要説明、帰国ボランティア(OB・OG)とのグループカウンセリング等(入場料無料)		シニア海外ボランティア紹介のビデオ上映、概要説明、帰国ボランティア(OB・OG)の体験発表等(入場無料)	
資料請求方法	説明会にて資料・願書を無料で配布していますが、郵送をご希望の方は、390円切手を同封のうえ住所・氏名・電話番号を記入し、表に希望の資料を明記して(例:「シニア海外ボランティア募集要項希望」)下記「JICA九州ボランティア事業係」へ御請求下さい。			

資料請求・問い合わせ先 JICA九州 〒805-8505 北九州市八幡東区平野2-2-1 093-671-8349 e-mail:jicakicp-jpcvqc@jica.go.jp/ホームページ:http://www.jica.go.jp

大和浜公民館完成

集落民総出で祝賀会

8月21日(土)に、大和浜公民館の完成式・落成祝賀会があり、多くの集落民、関係者が列席して完成を祝いました。

旧公民館は、昭和41年に建てられ、施設機能の面で老朽化が目立ち支障を来していたため平成15年10月から新公民館建設の工事が始まり、今年の

3月に完成しました。

旧公民館に比べ広くなり、鉄筋コンクリート造り平屋建てで、延べ面積277㎡【約84坪】で冷暖房設備も完備しており舞台やシャワー室も新たに設置されております。

完成式では、永田村長の式辞のあと事業経過報告が行われ、村と大和浜

集落から建設関係者や高額納付者に感謝状と記念品が贈られました。また、引き続き行われた祝賀会では、子ども会、婦人会や青壮年団等各種団体が様々な余興を披露し、伝統芸能でもある大和浜棒踊りや、地元バンドの演奏もあり、集落民や列席された人たちで新しい公民館の完成を祝いました。



育成資金の無利子貸付制度

独立行政法人自動車事故対策機構では、自動車事故が原因で死亡された方、または重度の後遺障害が残った方のお子様に、育成資金の無利子貸付けを行っています。

- *対象者
0才から中学卒業までのお子様
- *申込者
そのお子様を扶養している保護者
- *金額
はじめに一時金15万5千円
貸付期間中毎月2万円、入学支度金(小、中学入学時)4万4千円
- *期間
貸付が決定した月から中学卒業の月まで
- *利子 無利子
- *返還
割賦による無理のない、20年以内の均等払いです。
- *返還猶予
中学卒業、高校、大学等に進学した場合には、在学期間は返還を猶予できます。なお、自動車事故による重度の後遺障害者には、介護料の支給制度もあります。
- *問い合わせ先
独立行政法人自動車事故対策機構
鹿児島支所
TEL 099-225-1782

一般コミュニティ助成事業

(自治宝くじ)

本村の地域子ども会や保育所園児等のコミュニケーション活動の充実を図るため、平

成16年度一般コミュニケーション助成事業(自治宝くじ)の助成を受け、奄美フォレス



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

- *総事業費
2,500,000円
- *宝くじ助成金
2,500,000円

トポリスの遊戯広場に木製コンビネーション遊具すべり台、ぶらんこ、テーブルセットを整備しましたので、ご利用ください。

わたしのおすすめメニュー

大和村食生活改善推進員

●旬のにがうりを使った「夏バテ解消料理」

* にがうりは庭先で作られ、夏の食卓の野菜として使われてきた。佃煮、酢のもの、和えものに多く元気の源として夏バテ予防料理として人気があります。

1. にがうりの佃煮 ～材料と分量の割合～

にがうり	500 g		
砂糖	150 g	みりん	50 cc
しょう油 (薄)	10 cc	しょう油	30 cc
酢	30 cc		
ゴマ	10 g	かつおパック	30 g

●作り方

- ① にがうりは丸ごと塩でもみ、流水できれいに洗う。
- ② にがうりは縦2つ割にして、わたと種をスプーンで取り去り幅5mmのスライスにして湯どおして水分を切る。
- ③ 調味料を先に煮詰め①を加え、だんだんと火を弱めながら煮詰める。
- ④ ②の荒熱がとれたら、かつおパックといりごまを加え軽く混ぜる。



2. にがうりの酢和え ～材料と分量の割合～

にがうり	200 g	ちりめんじゃこ	16 g
梅じそ	3 g	花かつお	5 g
調味料(合わせ酢)：酢	大さじ1	しょう油(薄)	大さじ1
		みりん	大さじ1

●作り方

- ① にがうりは縦2つ割りにし、わたと種を取り3mm弱のスライスにして湯通しして絞る。
- ② 梅じそを細かく刻む。
- ③ ①にちりめんじゃこ、梅じそを混ぜ合わせ合わせ酢で和え、花かつおを上から散らす。

*一口メモ

- にがうりの佃煮は他の佃煮と違って、ほろにが味が大人のお茶うけとして喜ばれるでしょう。

福山修二氏が受章 瑞宝単光章(防衛功労)

大和村名音出身の福山修二さんが、平成16年4月29日付けで瑞宝単光章(防衛功労)を受章されました。大島高校卒業後、一九六一年に陸上自衛隊に入隊し、都城、茨城・勝田、北熊本の各駐屯地に勤務され、七二年に沖縄の日本復帰に伴

い那覇駐屯地第一混成群に所属、九七年に准陸尉で定年退職されました。現在大和村名音に在住、大和村民生員等をされています。「連絡を受けた時は、『まさか』という気持ちで、夢心地だった。自分で一つの目標、仕事をやり

遂げたという思いで頑張った。職場の上司や同僚、集落民、同窓生に助けてもらったおかげ。そして、苦勞を掛けながらも、長年支えてくれた妻ナチコに一番感謝したい」と話されていました。5月14日の防衛庁での伝達式には、東京は初めてという、ナチコ婦人も同席され、千葉県にいる息子さんも東京にかけつけ、



両親を祝福されたそうです。35年間お疲れ様でした。受章おめでとうございます。

こせきの窓

(8月31日現在)
人口 2,017人
男 971人
女 1,046人
世帯 919戸
(推計人口)

およろこび

平成16年7月1日から8月31日までに届けられた方です。

植田 雷我 (湯湾釜) 母 優歌

民 愛珠莉 (名音) 父 幸和 母 りん子

奥平 光 (大柵) 父 晃二 母 真紀子

健やかに育ってください。

ご冥福をお祈りします

重信フサ子 (61) 大和浜
仁村ちよみ (43) 大和浜
森岡 逸應 (57) 国直

香典返しお礼

* 次の方から、村社会福祉協議会へ香典返しとして、ご寄附をいただきました。

重信 忠純 (故) 重信フサ子
今田 謙治 (故) 今田 直治
仁村 直子 (故) 仁村ちよみ
伊藤サヨ子 (故) 伊藤 廣
森岡葉枝子 (故) 森岡 逸應

ありがとうございました。

ご寄附お礼

※広報誌・ふるさとカレンダー
送付謝礼等として次の方から、ご寄附をいただきました。

原 賢治 一万円 (大阪府)
宮田 賢種 一万円 (名瀬市)

ありがとうございました。

お詫びと訂正

7月号の広報やまとの9Pの、およろこび(お誕生)の氏名の欄で久保颯汰くんの汰が太に、また賀川美紀ちゃんのみきになつていましたので、お詫びして訂正いたします。

女性の力で健康づくり 「ふるさとを興す」大会

8月22日(日)、大和村体育館で「ふるさとを興す大島地区保健・福祉学習大会」が開催されました。

開会式では、奄美大島結核成人病予防婦人会の丸田京子会長が「地域の健康づくりの担い手である私たちが栄養、運動、休養を念頭に置いて日常生活を送り、生活習慣病の予防に努めることが肝要です」とあいさつされました。

県民総合センターの瀬戸山史郎所長が「元気で長生



き」と題して基調講演されました。

シンポジウムのテーマは「地域福祉に知恵を出し合い思いをかけよう」。大島支庁福祉課の引地正秀さんが「高齢者は若者の活力とエネルギーをもらい、若者は高齢者の知恵と経験をもらいながらお互い助け合う地域づくりが必要である」などと提言されました。

大和村結核成人病予防婦人会福祉部長の富田美加代さんと、龍郷町結核成人病

予防婦人会代表の山田ヤエ子さん二人による事例発表がありました。富田さんは村内の高齢化率や福祉施設の概要などを説明し、「高齢者が笑顔で自立できるよう、行政や福祉施設と連携して取り組んでいきたい」と発表されました。山田さんは、自分の体験から「介護する側になって心身ともに健康でなければならぬことを実感しました。障害を前向きの視点に変えることで、豊かな介護社会が築けると願っています」などと発表され、質疑応答も活発にでる中、山田さんには、励まし(声援)の言葉などもありました。

閉会式では、来年開催地の与論町へ玉手箱の伝達式があり、その後参加者全員で今日の日をさようならを合唱して大会を終えました。



元気です
満一歳になりました



平成15年7月1日から平成15年8月31日までの間に誕生されたお子さん達です。

ちよつと満一歳を迎えました。親が子に寄せる期待と夢は大きいものです。

また、過疎の「大和村」もこの子どもたちの成長を祈っています。

ご紹介しましょう。



竹中 喜^{よし}
父 義晴
母 智子
(大棚)



元山 遥^{はるか}
父 丈寿
母 葵
(大棚)



徳島 成^{なる}
父 兼稔
母 寿子
(大金久)

すくすくと
育て
ほでてためになれ
玉こがね
島の宝